

学校だより

かぎやま

発行
久米島小学校
平成28年
2月1日
第18号

家庭・学校・地域の架け橋

学力向上の取り組み 県PTA研修会

平成二七年度の沖縄県PTA研究大会那覇大会が一月二四日に浦添市でこのホールをメイン会場に那覇市、浦添市の六会場で開催されました。「PTAが家庭・学校・地域の架け橋」ハイサイ ハイタイ 笑顔を広げようの大会スローガンのもと、二一世紀を生きる子ども達が心豊かにたくましく成長することを願い、七分科で事例発表や基調提言、それらを受けての研究討議等の研修会が行われました。

第四分科会「教育問題」では、本県が重要課題として掲げている「学力向上」にかかる取り組みについて、義務教育課の基調提言、宜野座村立漢那小学校PTA、中城村立中城中学校PTAの事例発表がありました。義務教育課の基調提言では、全国学力学習状況調査結果から学習を支える力の育成として、家庭学習の習慣化、学習用具の準備の重要性について、また、生活リズムと学力の相関から朝食、起床・就寝時刻や規範意識、協調性の高い児童ほど学力が高い傾向にあるとの報告があり、学習習慣や生活習慣の形成を図るために学校・家庭で具体的な取り組みについて確認し、実践することが重要性について述べていました。漢那小学校PTAでは、「児童生徒と教師が向き合う時間を確保する」という県教育委員会の方針を受け、学校に関連する諸PTA行事の見直しやPTAの協力体制の再構築、学校支援のあり方について検討し、「PTAとしてできること」の実践報告が行われた。行事の見直しについては、「向き合う時間を確保する」視点から、行事の意義、内容、方法、児童やPTA会員の参加状況の再確認、主催と役割を明確化しPとTの協力体制を構築し実践されており、地域や学校の行事の良さを残しつつ、学校の状況や保護者の状況等の変化に合わせ絶えず連携を図りながら実践することの重要性に述べていました。本校でも充実したPTA活動が実践されており、更なる充実を図るために、他地区の実践を参考に地域・保護者との連携のもと、特色ある学校づくりを推進していきたいと考えています。

新春凧あげ大会

子ども達の健やかな成長を願い、PTA主催の「新春凧あげ大会」が17日（日）に行われました。朝の受付、作品展示、開会式と順調に日程を進め、いよいよ凧上げ大会、強風の中開始30分間あたりまでは何とか天気も持ちこたえ、各家庭で工夫を凝らした凧が空に舞っていましたがその後は、突然の暴風雨。記録的な降雨に見舞われ、後半の内容を変更し進められました。

新春の凧上げは、一年間の厄払いと安全に健やかに成長を願うということで江戸時代から全国各地で行われるようになったということです。今では、凧あげなど伝統的な新春の遊びを見かけることは少なくなりましたが、伝統凧の工夫と知恵の継承を願うものです。

展示審査では、約30点の凧が出品されました。どの凧も色や形、文字や絵など、細部にいたるまで工夫とアイデアに溢れ、丁寧に力強い凧に仕上がっていました。強風で厳しい状況での凧上げではありましたが、家族のみんなでしっぽを調整したり、凧とのタイミングを合わせたりと工夫と経験を活かして、凧を高く上げていました。一つのことを目標にみんなで力を合わせて取り組んでいる様子は、心が温かくなると同時に、どんなことでも乗り越える力強ささえも感じました。

当日は寒風の中、家庭教育学級の皆様には、豚汁を振る舞っていただきました。身も心も温まり、美味しくいただきました。また、本大会を企画、運営に御協力いただきました専門部の皆様をはじめ地域・保護者の皆様に感謝申し上げます。今後とも子ども達の健やかな成長を願い、共に力を合わせて取り組みの充実を図っていきましょう。

車エビを 学校給食へ

一月二一日、車エビの拠点産地である久米島、子ども達へ、食材をとおして地元よさをもちと知ってもらい地域産業へ誇りをもって、未来を担う子ども達の感性を育み地域の活性化へ繋げようという願いを込め、沖縄県車海老漁業協同組合より給食への提供がありました。車海老にかかるとその殆どが県外向けの出荷となっており給食での食材としては初めての試みと言うことでした。高学年では、海洋深

層水産物供給センターから車海老について説明を受け地元産品を再認識しながら美味しくいただきました。

